

## 【公開Ⅰ】 1年1組 音楽科学習指導案

北舎3階音楽室 舟橋 和恵

1 題材名 「おと」となかよくなるう ～ときめきコンサート～

### 2 指導の立場

#### (1) 題材について

本題材は、第1学年音楽科「A表現」(3)ア(アイ)、イ(ア)、ウ(ア)〔共通事項〕(1)ア、及び、図画工作科「A表現」(1)イ(2)イ、「B鑑賞」(1)ア、〔共通事項〕(1)アイにもとづく題材である。音楽科、図画工作科ともに「音」に着目した表現活動を設定し、それぞれの学びを往還することを通して、音の違い「音色」を捉えることができるようにする。また、音や音楽を自らつくり出す活動を通して、主体的に学ぶ喜びを味わうことができるようにする。このように、音楽活動(音遊び)や制作活動(楽器作り)の楽しさを体験することを通して、音に関わる豊かな感性を育むために、音楽科、図画工作科の教科の特性を生かした題材を設定した。

音楽科では、打楽器を用いた「音遊び」を通して、打つ、振る、擦るなど奏法を変えると一つの楽器からいろいろな音色が出せることに気付く力を付ける。また、見付けた音色を生かした「音楽づくり」では、打つ、振る、擦るなどの奏法を試しながら「〇〇みたいな音」や「元気な音」など自分の願いに合う音の出し方や音の組み合わせを工夫して、音楽づくりの発想を得るようにもする。一方、図画工作科では、音が出る材料や仕組みを利用し、願いに合う楽器を作ったり演奏したりすることを通して作り出す喜びを味わい、仲間とともに作った音楽を披露する「ときめきコンサート」を行う。このように、音に共通した両教科の題材を合わせて配置することで、

いろいろな方法を試しながら、より自分の願いに合うものをつくり出す楽しさと音色を味わう楽しさを感じる姿を目指す。

#### (2) 児童生徒について

児童は、進んで新しい歌やリズム遊びを覚え、休み時間にも口ずさんだり体を動かしたりして日頃から音楽に親しんでいるが、自分の思いを自由に表現して楽しむ姿は少ない。これは、仲間と違う表現をしたり、正解がなく自由に表現したりすることに抵抗があるからだと考えられる。

これまで国語科においては、「声を揃える(拍)」「言葉(リズム)遊び」「文章(歌詞)から様子を思い浮かべる」など、リズムや感性について関連させて学習を進めてきた。そこで本題材では、音楽科と図画工作科における教科内容の横断的視点に着目し、音が出るいろいろな材料や、その奏法を試す活動を通して、よりよいと感じるもの、願いに合うものを見付け、仲間と一緒に音楽活動を楽しむ過程に重点をおいて指導する。

#### (3) 指導について

本時は、図画工作科で制作した楽器を用いて学習を進める。音色に着目して鳴らし方を工夫し、仲間と音を繋げたり重ねたりする活動することを通して、願いに合った音色を見付けて表現することを目指す。

児童は、前時まで打楽器(トライアングル・タンブリン・すず)のいろいろな奏法を探り、1つの楽器からいろいろな音が出せることを見付け、お気に入りの音を使った音遊びを行って本時を迎える。本時は、自分の楽器を使い、さらにいろいろな鳴らし方を工夫して聴き比べ、より願いに合う音を決める。仲間と音を合わせる音楽づくりの発想をもとに、音の繋げ方や重ね方などを試し工夫することを繰り返し、願いに合った表現ができるようにしていきたい。

### 3 題材指導計画

学年	第1学年	題材名	「おと」となかよくなるう〜ときめきコンサート〜 音楽3時間 図工3時間 合同1時間 全7時間		
題材で育む資質・能力					
音楽科「A表現」(3)ア(アイ)、イ(ア)、ウ(ア)〔共通事項〕(1)ア		図画工作科「A表現」(1)イ(2)イ、「B鑑賞」(1)ア、〔共通事項〕(1)アイ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器による音遊びを通して、一つの楽器からいろいろな音が出せることや、鳴らし方と音色との関わりに気付く。〔知識及び技能〕</li> <li>・打楽器の音色を生かした音遊びを通して、願いに合う音の出し方や組み合わせを工夫し、音楽づくりの発想を得る。〔思考力、判断力、表現力等〕</li> <li>・打楽器の音色を生かした音遊びをしたり互いの演奏を聴いたりする活動を通して、打楽器の音色や音の組み合わせに興味をもち、生活の中の様々な音に親しむ。〔学びに向かう力、人間性等〕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・音が鳴る材料や仕組みから、思い付いたものをつくることを通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付き、手や体全体の感覚などを働かせて、自分の願いに合う楽器をつくる。〔知識及び技能〕</li> <li>・材料を鳴らして感じたことや想像したことから、つくりたい楽器を決め、形や色、材料などを工夫して楽器をつくる。〔思考力、判断力、表現力等〕</li> <li>・音が鳴る材料や仕組みから、思い付いた楽器をつくり、演奏することを通してつくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を想像しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕</li> </ul>			
時	主な学習活動とねらい	評価規準	主な学習活動とねらい	評価規準	
①	<p>いろいろな音を見つけて鳴らそう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器（トライアングル、タンブリン、すず）について、打つ、振る、擦るなどの演奏の仕方を試し、いろいろな音色の音を見付ける。</li> </ul>	<p>いろいろな鳴らし方を試し、楽器の材質や演奏の仕方によって音色が変わることに気付いている。〔知識・技能〕</p>	<p>いろいろな音の出し方を見つけて、つくりたいものを決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な種類の材料をもとに、たたく、振る、弾く、擦るなどの音を出す基本的な仕組みを使って音を出し、楽器のイメージをもつ。</li> </ul>	<p>材料や仕組みによる音の違いに気付き、自分の願う音に合うものを選択してつくっている。〔知識・技能〕</p>	
②	<p>見つけた音を使って遊ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習で見つけた音を、友達と繋げたり重ねたりして演奏する。</li> <li>・いろいろな繋げ方や重ね方を試し、お気に入りの音楽をつくる。</li> </ul>	<p>自分の見つけた打楽器の音色や特徴を生かして、音の出し方や組み合わせを工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いをもっている。〔思考・判断・表現〕</p>	<p>お気に入りの音が出るように、材料や仕組みを工夫して楽器をつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音を鳴らして確かめ、自分の願いに合うように、材料や仕組みを工夫してつくる。</li> <li>・演奏しても壊れないものをつくる。</li> </ul>	<p>材料を鳴らして感じたことをもとに、つくりたい楽器のイメージをもち、材料や仕組みなどを工夫して楽器をつくっている。〔思考・判断・表現〕</p> <p>自分が目指す楽器になるような素材や形、製作方法等を選んでつくっている。〔知識・技能〕</p>	

	主な学習活動とねらい	評価規準	主な学習活動とねらい	評価規準
③ 本時 (音楽科)	<p>お気に入りの音で、音楽をつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図画工作科の学習でつくった自分の楽器を使って、音遊びをする。</li> <li>・ 音色に着目していろいろな鳴らし方を試し、仲間の音と組み合わせる。</li> </ul>	<p>いろいろな鳴らし方を試したり、音の組み合わせを工夫したりして、気に入った音を探している。</p> <p>[思考・判断・表現]</p>	<p>音楽に合うようなかざりをつけて、じまんの楽器をつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽の学習でつくった「音楽」をイメージして、色や模様を付ける。</li> <li>・ 演奏が楽しくなるような飾りを付ける。</li> </ul>	<p>「音楽」からイメージしたことを、色や模様で表現している。[思考・判断・表現]</p>
④	<p>「ときめきコンサート」をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時につくった音楽を発表する。</li> <li>・ 他のグループの音色の面白さを見付けながら発表を聴く。</li> </ul>		<p>自分や友達の楽器の音色に興味・関心をもち、互いの音や演奏の仕方を生かして表現する学習に楽しんで取り組んでいる。[主体的に学習に取り組む態度]</p>	
<b>題材で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿</b>				
問題解決力	音遊びを通して、お気に入りの音色を見付けるために、叩く、振る、弾く、擦るなどの鳴らし方を試したり、願いに合う音の組み合わせを探したりする姿。		色々な材料の中から使いたいものを自分で選び、叩く、振る、弾く、こすなどをして音を出すことを通して、自分のつくりたい楽器のイメージをもち、それに向かって工夫してつくる姿。	
関係構築力	いろいろな表現方法を試す活動を通して、互いの音を聴き合い、願いに合う音になるように仲間と音の組み合わせや演奏順を話し合う姿。		製作活動において、仲間と楽器のつくり方を交流したり教え合ったり、用具の貸し借り等をしたりしながら、自分のつくりたい楽器を製作する姿。	
貢献する人間性	打楽器や身近にあるものから出る音に興味をもち、いろいろな奏法で音遊びをしたり、仲間と合わせたりして音楽を楽しむ姿。		「ときめきコンサート」に向けて、自分の楽器の良さを生かせるように、音の鳴らし方を工夫したり、つくり直したりする姿。	
<b>自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て</b>				
問題解決力	いろいろな奏法を試す活動を通して、楽器の鳴らし方と音色との関わりに気付き、願いに合う音の出し方を探しているか、活動の様子から見届ける。		つくりたい楽器を自分で決め、音を出して試しながらつくっているか、壊れないようにつくり方や材料を考えてつくっているか、活動の様子から見届ける。	
関係構築力	音遊びをする中で、互いの音を聴き合ったり話し合ったりしながら、どんな音をどのように組み合わせるかを決めようとしているかを、交流の様子から見届ける。		製作活動の中で、教え合ったり、手伝ったり、用具を共有したりしているか、交流の様子から見届ける。	
貢献する人間性	一つの楽器でも、奏法や音の組み合わせによっていろいろな音が出せることを楽しんでいるか、音遊びやコンサートでの様子から見届ける。		「ときめきコンサート」をすることを楽しみにしながら楽器の音やデザインを工夫してつくっているか、仲間と一緒に鳴らしたりしているか、製作活動やコンサートでの演奏の様子から見届ける。	

#### 4 教科にかかわる本時のねらい

楽器の音色に着目していろいろな鳴らし方や音の組み合わせ方を試す活動を通して、自分の願いに合った音を見付け、組み合わせを工夫して音楽をつくることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕

#### 5 本時の展開（3／4）

児童生徒の学習活動	教師の手立てと見届け
<p>1 本時のめあてを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの楽器から、いろいろな音が出せておもしろかったよ。</li> <li>・鳴らし方を変えると、音が変わったよ。</li> <li>・図画工作でつくった楽器でも、やってみたいな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>お気に入りの音を使って、音楽をつくろう。</p> </div> <p>2 図画工作科の学習でつくった楽器を使って、いろいろな鳴らし方を試し、仲間の音と組み合わせる（願い別コーナー学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>元気な音</b> 強く叩くと大きな音が出て、元気な感じになったよ。 仲間と一緒に鳴らしたら、もっと大きくて元気な音ができたよ。</li> <li>・<b>やさしい音</b> ゆっくり揺らしたら、「さらさら～」と波の音みたいになったよ。 そっと擦って仲間と繋げたら、お話をしているみたいになったよ。</li> <li>・<b>不思議な音</b> 叩く場所を変えると、音色が変わっていろいろな音が出せるよ。 一緒に鳴らすメンバーを交代したら、不思議な音になったよ。</li> <li>・<b>きれいな音</b> 同じ種類の楽器の仲間と鳴らしたら、音色が揃ってきれいだと思ったよ。</li> </ul> <p>3 中間交流を行い、音の組み合わせ方の工夫に気付く</p> <p>4 さらに工夫を重ね、音楽を完成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に鳴らす相手を変えながら繰り返すと、もっとおもしろくなったよ。</li> <li>・1人→3人の順にしても、お話している感じがしたよ。</li> <li>・いろいろな鳴らし方が繋がって、楽しい音楽ができたね。</li> </ul> <p>5 振り返りを行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の楽器で、いろいろな鳴らし方を試しながら、お気に入りの音で音楽を作ることができました。一人で鳴らすのもいいけど、仲間と一緒に鳴らすと、いろいろな音色の音楽ができたので嬉しかったです。お気に入りの音楽をみんなに聴いてもらいたいです。</p> </div>	<p>（●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力）</p> <p>○●児童が学習への見通しや意欲がもてるよう、前時までの学習や本時したいことを確かめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>研究にかかわって</p> <p>【見届けの視点】</p> <p>いろいろな鳴らし方を試したり仲間の音と組み合わせたりする活動を通して、鳴らし方と音色との関わりに気付き、願いに合う音の出し方を探しているか、活動の様子や発言内容から見届ける。（問題解決力）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「元気」「やさしい」などのコーナーを設定し、共通する願いの児童同士でグループができるようにする。</li> <li>●音色に着目している姿（音を聞く姿・音に着目した発言）を価値付け、ねらいに沿った活動ができるようにする。</li> <li>●一人で活動する児童や迷っている児童には、願いを確かめ、グループに入って活動してみるよう促し、表現の幅が広がるようにする。</li> <li>●中間交流では、特に順番・人数・重ね方等、組み合わせ方に関わる工夫を広め、後半の活動に生かせるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】</p> <p>自分の楽器でいろいろな鳴らし方を試したり、音の組み合わせを工夫したりして、気に入った音を探して表現している。 [思考・判断・表現]</p> </div>